

● 平成 29 年度市老協合同入職式

去る 4 月 8 日、京都テルサ テルサホールにおいて、昨年度に引き続き当会主催の「合同入職式」を開催致しました。

この合同入職式は、新入職員のモチベーションを高め、各施設間の連携を深めることなどにより、離職防止と定着促進を図ることを目的とし、会員施設の平成 29 年度新規採用者と平成 28 年度中途採用者を合せて入職者 244 名、学校関係者などのご来賓 16 名、入職者ご家族や施設職員等関係者 74 名、計 334 名が一堂に会し、入職者へのお祝いと激励の場とさせて頂くことができました。

山岸会長の開会挨拶に続いて、後援していただいた京都市の門川大作市長、大谷大学 教授 山下憲昭氏よりご祝辞をいただき、社会福祉法人京都福祉サービス協会の井瀧さんと、社会福祉法人七野会の小倉さんから、入職者を代表してお礼の挨拶をいたしました。

その後は、突然の障害と向き合い、気管切開をされたにもかかわらず、前例がなければつくればいいとスピーチカニューレで歌われる声楽家 青野浩美さんの感動的な記念講演に、多くの参加者が感銘を受けました。

そして、水内理事の市老協の概要報告の後に、市老協の独自の取り組みであるハートメッセンジャー（介護職の広報担当者）など施設職員で編成されたコーラス隊が、シンガーソングライターの堀内圭三さんに作詞作曲していただいた歌「ハートメッセンジャー」などを堀内さんと一緒に合唱し、河合副会長の閉会挨拶でお開きとなりました。

写真は、門川大作京都市長、山下憲昭氏から熱い激励のお言葉を頂いたあと、記念撮影させて頂いた際のものであります。門川市長をはじめ、ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。